

# 学内研究成果の「和歌山大学学術リポジトリ」での公開について

## 和歌山大学学術リポジトリとは

和歌山大学学術リポジトリとは、和歌山大学の教育研究活動において生産された学術研究成果等を収集し、蓄積・恒久的に保存をするものです。これらの研究成果は、学内外に無償でインターネット公開し（これを「オープンアクセス」と言います）、本学の学術研究の発展と広く社会に対する貢献を目的とします。

このような機関リポジトリは、全国の大学で運用されており（令和3年3月末時点で818のリポジトリが運用中）、研究成果のオープンアクセス化に貢献しています。研究成果のオープンアクセスに関しては、近年では国の政策的文書<sup>1)</sup>にも取り上げられており、大学・研究者はその対応が求められているところです。

## 学術リポジトリで研究成果を公開することのメリット

### 1. 研究者にとって

- 研究成果の可視性が高まり、引用される可能性も高まります。
- Google等の検索エンジンだけでなく、CiNii Articles等のデータベースにも収録されます。
- リポジトリシステムとサーバは図書館が運用し、登録作業も図書館が行いますので、手間はかかりません。

### 2. 大学にとって

学術リポジトリは研究成果のショーケースとしての役割を果たし、社会に対する説明責任及び地域貢献を推進します。

## 権利処理

リポジトリへの登録にあたっては、著作権等の権利関係の確認が必要になります。

1. 共著者がいる場合、共著者にリポジトリ登録について同意を得てください。
2. 研究成果物の内容にインターネット公開ができないもの（特に図表や写真）が含まれていないかどうか、ご自身で確認ください。
3. 学術雑誌発行元にリポジトリへの登録が可能かどうかをご確認ください（著作権の確認方法等が不明な場合は図書館にご相談ください）。

---

1. 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会「学術情報の国際発信・流通力強化に向けた基盤整備の充実について」（2012.7）  
内閣府「第5期科学技術基本計画」（2016.1）  
科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会「学術情報のオープン化の推進について（審議まとめ）」（2016.2） など

## ■補足

- 学術リポジトリで電子化公開することで新たな著作権が発生することはない、著作権が図書館に譲渡されることもありません。
- 学術雑誌によっては、刊行後一定期間を置いた後、本文を公開することが可能な場合があります。その場合、公開禁止期間を図書館にお知らせください。

## 登録の流れ

1. 下記 URL の様式をコピーして電子メールでご申請ください。出版者版（学術雑誌出版社のサイトで公開されている PDF）がリポジトリ登録可能な場合を除き、お手元の著者最終稿（アクセプト版）のファイルもお送りください。

<http://repository.center.wakayama-u.ac.jp/ja/page/register>

2. 図書館にて論文のメタデータ（著者、タイトル等の情報）を作成します。
3. 図書館にてリポジトリシステムにデータを登録して公開します。

## お申し込み先／お問い合わせ先

学術情報センター図書館（学術情報課）

学術リポジトリ担当

内線：7915 / E-mail：repository@ml.wakayama-u.ac.jp